

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第2回上尾市産業振興会議
開 催 日 時	令和6年7月24日(水) 10:00~12:00
開 催 場 所	上尾市プラザ22 第2会議室
議長(委員長・会長)氏名	河藤 佳彦
出席者(委員)氏名	河藤 佳彦、飯田 裕之、石川 泰正、大木 保司、松本 猛、池上 卓郎、井上 克典、高野 正則、安藤 由美、松本 弘子、坂田 直人、〈オブザーバー〉 栗原 邦夫
欠席者(委員)氏名	松村 稔、吉澤 ひろ子、田中 宏幸、幸物 正晃、藤田 悟
事務局(庶務担当)	環境経済部次長 田中 商工課長 小川、商工課副主幹 今村、商工課主査 加藤、 商工課主事 三浦(文責) 農政課長 東、農政課主幹 互井
会 議 事 項	1 開 会 2 議 題 (1) 上尾市の産業振興に関する提言書 令和6年度(案)について (2) 第2次上尾市産業振興ビジョンについて (3) その他 3 閉 会
会 議 資 料	別紙のとおり

議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和 6 年 10 月 31 日

会長の署名 河藤 佳彦

議事録署名人 池上 卓郎

議 事 の 経 過

事務局	<p>1 開 会</p> <p>定刻になりましたので、「令和6年度第2回上尾市産業振興会議」を開会いたします。</p> <p>本日の司会を務めさせていただきます、上尾市商工課長の小川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の進行につきましては、事前に委員の皆様にお配りいたしました次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>ご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>事前に送付いたしました資料としましては、</p> <p>①資料1「上尾市の産業振興に関する提言書 令和6年度（案）」 ②資料2「第2次上尾市産業振興ビジョンについて」 ③資料3「ビジョン策定スケジュール」</p> <p>以上3点でございます。</p> <p>過不足などございませんでしょうか。</p> <p>なお、皆様の机上に、今年度実施している事業者支援事業の一部について、チラシを配布させていただきました。</p> <p>また、本日、上尾市産業振興ビジョンをお持ちでない方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>それでは、これより議題に入ります。</p> <p>本日は、昨年度より協議してまいりました令和6年度の提言につきまして、提言書（案）として取りまとめましたので、概要をご説明いたします。また、令和8年3月に予定している上尾市産業振興ビジョンの改定に向けた今後のスケジュールをご説明させていただくとともに、今年度に予定している事業者アンケート及びヒアリングの内容について、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>なお、本日の会議でございますが、本会議設置要綱第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数の出席がございましたので、有効に成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、規定に基づき河藤会長に議事の進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>2 議 題</p> <p>はじめに、本日の議事の正確性を証するため、議事録への署名を委員にお願いしたいと思います。議事録署名人につきましては、名簿順に指名させていただくこととなっておりますので、本来であれば前回の松本猛委員に続きまして、松村委員にお願いするところでございますが、本日、松村委員と、続く吉澤委員が欠席のため、池上委員にお願いしたいと思います。池上委員には後日、事務局より会議録を送付いたしますので、内容をご確認のうえ、ご署名をお願いいたします。</p> <p>また、本日、アリオ上尾の松本委員と県央地域振興センターの坂田委員につきましては、この後、別途、所用がございますので、会議の進行状況によっては、途中退席となりますことをご承知置きくださいますようお願いいたします。</p>

	<p>それでは、次第の2「議題」に入ります。</p> <p>先ほど事務局から説明がありましたが、1つ目の議題（1）「上尾市の産業振興に関する提言書 令和6年度（案）」の審議につきましては、これまで委員の皆様からご意見をいただいておりますので、今回はそういったご意見を押しさえ、最終的に整理したものを（案）として用意していただいております。</p> <p>この議題については、自由意見という形で進めたいと思います。</p> <p>また、2つ目は議題（2）「第2次上尾市産業振興ビジョン」ということですが、こちらは皆様がお持ちの現行の上尾市産業振興ビジョンに続く後継ビジョンということになります。これは新しい時代の流れを踏まえて、新しく策定をしていくということになりますので、非常に大事な議題となります。ですので、この議題につきましては皆様からご意見、ご質問をいただきたいと思っております。</p> <p>本日はこのように進めていきたいと思っておりますがよろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、議題（1）「上尾市の産業振興に関する提言書 令和6年度（案）」について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局でございます。それでは、資料1「上尾市の産業振興に関する提言書 令和6年度（案）」のご用意をお願いいたします。</p> <p>事前にお送りさせていただき、ご覧いただいているかと存じますので、いくつかのポイントに絞ってご説明させていただきます。</p> <p>こちらは、令和5年度に行いました、3回にわたる産業振興会議を通して、委員の皆様からいただいたご意見を提言書としてまとめたものでございます。</p> <p>冊子の構成といたしましては、産業振興ビジョンの趣旨、令和7年度の産業振興に向けた提言の内容、令和5年度に実施した施策、令和6年度に実施している施策、次期産業振興ビジョンに向けて、という形でまとめております。</p> <p>恐れ入りますが、4頁、「3 令和7年度の産業振興に向けた提言」をお願いいたします。</p> <p>冒頭に記載してありますとおり、「中小企業支援」と「地産地消とにぎわいづくり」の2つをテーマに議論を進めてまいりました。それぞれ、提言1として「事業者の持続的発展と新たなチャレンジへの支援体制の充実」、5ページになりますが、提言2として「就農支援のさらなる充実と中心市街地のにぎわい創出」ということで、この2つを令和6年度の提言とさせていただきます。</p> <p>それでは、「提言1」についてご説明いたします。</p> <p>「提言1」では、中小企業を取り巻く経営環境の改善につながる支援体制の充実と事業者の持続的発展を支えるためのDX促進や創業支援等の継続展開、また、新たな社会課題であり、企業としての新たなビジネスチャンスでもあるGXやカーボンニュートラルへの対応に向けた支援の必要性について謳っております。</p>

原材料費や人件費の高騰など、コストアップ要因が中小企業の経営に大きな影響を与えていると推測されます。資金繰りや金利上昇など、中小企業が抱える課題に対し、適切な支援が求められます。金融機関をはじめとする各関係機関と中小企業サポートセンターとの連携を促進する必要があると考えます。

人材不足に対するDX導入支援や新規事業、第二創業にチャレンジする事業者への支援については、時勢に即したスキームへの調整は必要であるものの、事業者の持続的発展のため、継続していくことが重要であると考えます。

また、SDGsやGXなど、企業の社会的責任として求められる取り組みに対しては、事業者の意識の改革を含め、啓発活動など、機運の醸成に資する支援策が求められると考えます。

次に、「提言2」でございます。

「提言2」では、就農支援施策のさらなる充実と、市民や観光客の回遊性を高め中心市街地のにぎわいを創出する必要性について謳っております。

本市では、農業従事者の高齢化や後継者不足への対応のため、近年、新規就農者に対する補助金制度の創設と拡充に努めてまいりました。今後、就農者の定着を支援する施策の展開や、市外に向けた支援制度の周知など、就農希望者を呼び込む環境づくりが求められます。また、既存の地場産物の有効活用や学校給食の活用など、新たな販路拡大に向けた支援も重要と考えます。

にぎわりづくりについては、駅を中心とした中心市街地の活性化が重要であると考えます。ARスポットのスタンプラリー事業や駅周辺を利用した定期的なイベントの開催により、回遊する市民や観光客が増えることで、市内消費の活性化や新たな観光スポットの形成につながり、地域としての付加価値が認められ、ポジティブな循環が生まれることが期待できます。

なお、提言やその内容につきましては、昨今の急激な社会情勢の変化に適宜対応するため、あえて個別具体的な事業案については言及せず、幅を持たせた表現としておりますことをご了承いただければと存じます。

次に、6ページから11ページは、これまでの検討過程や施策の検討に当たり収集した各種データ等について掲載しております。ここで1か所修正がございます。7ページの説明文の最下段に「令和5年度の第1回会議では、これら提言の内容について最終的な確認を行いました」とございますが、正しくは「令和6年度の第1回会議」でございました。5年度を6年度に修正いただきますようお願いいたします。

次に、恐れ入りますが13ページ「4 令和5～6年度に実施した（している）施策」をお願いいたします。こちらは、15ページにかけまして、令和5年度に実施した中小企業及び農業者への支援施策について、その実績を掲載しております。

13ページの中小企業サポートセンターにつきましては、相談実績が合計で304件となっております。なお、304件のうち、埼玉県よろず支援拠点の窓口相談件数は109件となっております。開設した令和3年度の実績は合計で306件、令和4年度が391件でございました。合計件数は前年度と比較し減少しておりますが、令和2年以降に広まったコロナ関係の公的補助

金制度が落ち着いてきたことにより、補助金申請に係る相談も減少してきたことが大きな要因と分析しております。利用者の声や活用事例を広く周知し、さらなる支援体制の充実および認知度の向上に引き続き取り組んでまいります。

次に、16ページをご覧ください。今年度を実施している事業について、概要をご説明いたします。

①の中小企業サポートセンターは、事業者の持続的な成長を促すため、関係機関との連携を強化するとともに、専門家による伴走型の「知識の支援」、補助金申請や融資に係る「資金の支援」を継続してまいります。

②の「SDGs商品開発費補助金」と③の「DX促進補助金」は、令和4年度の提言に基づき、事業者の持続的な成長を促進するため、昨年度より創設した補助金でございます。「SDGs補助金」は、昨年度、SDGsに掲げられた目標のひとつである「つくる責任 つかう責任」の達成に寄与する新たな商品やサービス開発に補助対象を限定しておりましたが、今年度は、事業者が収益を目的として広く社会的課題や地域課題に取り組めるよう、17の目標のうち2つの目標の達成に寄与する新たな商品やサービスの開発に補助対象を広げるようスキームを刷新し実施しております。

④の「創業応援補助金」でございますが、令和4年度まで実施していた「空き店舗等活用推進事業補助金」を昨年度より刷新した補助金で、店舗を持たず開業するニーズにも対応しております。昨年度の実績をもとに今年度は予算額を倍増し、創業者の支援に力を入れているところでございます。

⑤～⑦の事業につきましては、今年度からの新規事業となります。

⑤の「技能検定補助金」は、後継者不足や技術の継承への対応、また、専門的な人材の育成を支援するため、技能の習得に向けた支援でございます。上尾のものづくりの伝統を継承していくために重要な支援と考えております。

⑥の「飲食店と農家のニーズマッチング事業」では、「地元の食材を利用したい飲食店」と「地元飲食店に農産物を利用してもらいたい農家」のニーズのマッチングを図り、新商品や新メニューの開発によるにぎわいづくりにつなげたいと考えております。飲食店にとっては地元農産物を利用することによる商品の差別化が図れるとともに、農家にとっては、販路の拡大が期待できます。また、飲食店を通じ、市内外に上尾産農産物のポテンシャルを知ってもらうことで、高付加価値化につながることも期待できます。

17ページをご覧ください。

⑦の「中心市街地回遊性強化事業（ARスポット設置事業）」は、令和5年度の提言内容と直接関連いたしません。が、「にぎわいづくり」の点において市の重要な施策となり、来年度以降の施策の検討においてもポイントとなる事

	<p>業であることから掲載をしております。</p> <p>⑧の「新規就農者経営支援補助金」と⑨の「新規就農者農業機械等導入支援補助金」は新規就農者支援のための継続事業でございます。要件等につきまして、昨年度と変更はございません。</p> <p>⑩～⑬の事業につきましては、今年度からの新規事業となります。</p> <p>農業の持続的な成長を促すための支援として、農業経営や販売促進など、営農継続の係る様々な課題の解決に向け、十分な知見を有する専門家が相談に応じる⑩の「農業者等経営改善相談業務」、新規就農に係る課題全般の相談支援として⑪の「新規就農等相談事業」、将来的な農地の活用方向について講習を行う⑫の「農地活用等研修会」を実施いたします。</p> <p>また、上尾の農業が持つ魅力とポテンシャルの掘り起こしとして、地元農産物のPRするため、また、新規就農者を中心とした販売促進のため、⑬の「農産物販売機管理運営事業」を実施いたします。まずは手始めとして、市役所本庁舎での販売機の設置を予定しております。</p> <p>令和6年度に実施している事業についての説明は、以上となります。</p> <p>18ページにつきましては、第2次上尾市産業振興ビジョン策定に向けたこれまでの経緯と今後のスケジュールなどを記載しております。</p> <p>20ページからは参考資料として、産業振興会議の要綱や委員名簿を掲載しております。</p> <p>以上で、議題（1）上尾市の産業振興に関する提言書 令和6年度(案)について、説明は以上となります。 よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。令和6年度 提言書（案）で中心となる箇所は4、5ページになります。8月にこの産業振興会議から提言書を市長に提出する予定です。 ただ今の事務局の説明に対して、ご意見・ご質問などございましたらお願いします。</p> <p>（発言なし）</p> <p>今後、改めて事務局による最終確認があると思いますが、この内容を持って提言書の提出を進めてまいりたいと思います。それでは、事務局から今後の説明をお願いします。</p> <p>事務局でございます。計3回に渡り議論をしていただきました提言書でございますが、会長から説明がありましたとおり、8月下旬に提言書の最終版を市長へ提出する予定でございます。事務局による修正箇所がありましたので、</p>
会長	
会長	
事務局	

<p>会長</p>	<p>こちらを修正しまして最終的な確認につきましては、会長と副会長にご一任いただいたうえで提出にあたりたいと考えております。</p> <p>ありがとうございます。今後の流れについては事務局から説明がありました方法でよろしいでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、議題（２）「第２次上尾市産業振興ビジョンについて」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局でございます。それでは、資料３「第２次上尾市産業振興ビジョン策定スケジュール」をご覧ください。</p> <p>本日の会議以降、令和８年３月の策定に向けた主要事項を時系列でまとめました。全体のスケジュール、本会議及び庁内関係部署による策定作業部会、事業者アンケートとヒアリング、広く市民に意見を募るパブリックコメントとなっております。</p> <p>まず、全体スケジュールとしては、今年度中に上尾市の産業が目指すべき姿や、その姿を実現するための戦略、取り組み方針などをまとめたビジョンの「体系骨子」を策定し、来年度からはビジョン全体の構成をまとめた骨子の策定、そしてビジョンの素案、成案の策定へと作業を進めてまいります。</p> <p>今年度につきましては、体系骨子案の策定に向け、１１月より、本市の地域特性や産業構造、国・県の政策の動向や展望の調査・分析を行い、本市の産業に関する現状と課題を把握いたします。そこに現行ビジョンの評価・検証結果や事業者アンケートとヒアリングの結果も踏まえ、考慮すべき将来変化の整理を行ったうえで、ビジョンの方向性を体系骨子案に組み込んでまいります。</p> <p>本会議と策定作業部会については、策定作業部会での協議検討内容を本会議にて報告し、内容によっては、本会議にてさらに協議・検討する方向で考えております。</p> <p>事業者アンケートとヒアリングにつきましては、先ほど申し上げましたとおり、今年度実施し、体系骨子案の検討資料といたします。</p> <p>パブリックコメントはビジョンの最終案が決定した来年度の１２月を予定しております。</p> <p>ビジョンの策定スケジュールについての説明は以上となります。</p> <p>続きまして、資料２「第２次上尾市産業振興ビジョンについて」のご用意をお願いいたします。</p> <p>１ページをご覧ください。</p> <p>先ほども申し上げましたが、今年度の１２月から１月にかけて、事業者アンケートとヒアリングを予定しております。最終的なアンケートの内容やヒアリング先については、次回の第３回会議にて最終確認をさせていただく予定でありますが、今回は委員の皆様より、アンケート作成における視点と盛り込むべき項目、また、ヒアリングの候補先についてご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>はじめに「事業者アンケートについて」でございますが、昨年度、現行ビジョンの評価・検証を実施し、資料の中段から下段に記載しております「本市の各産業分野の課題」が見えてまいりました。次期ビジョンでは、課題の解決に向けた戦略や取り組みの制度設計が必要となってまいります。この戦略や取り組みの制度設計に事業者の声を反映させていくためにはどのような視点が</p>

<p>会長</p>	<p>必要か、またどのような質問項目を盛り込むべきかについて、委員の皆様よりご意見を頂戴したいと存じます。</p> <p>なお、資料の下段に記載しております①～③については、各産業分野の課題の抽出根拠でございます。</p> <p>次に、裏面の2ページをお願いします。</p> <p>「事業者ヒアリングについて」事務局にて、ヒアリング先の団体候補と、その具体的な組織や店舗名についてご提示いたしました。ご提示のほとんどは現行ビジョンの策定時に実施したヒアリング先でございます。各産業分野からバランスよく聴取したいと考えておりますが、事務局案は妥当であるか、また他に候補がございましたら、ご意見を願います。</p> <p>議題（2）第2次上尾市産業振興ビジョンについての説明は以上となります。よろしく願います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>令和7年度の3月までに次期ビジョンを策定することを目標に、策定に関する進行管理について、意見交換などを本シンポジウムで行うという事です。</p> <p>議題（2）について、私の方から補足説明をさせていただきます。</p> <p>皆様のお手元に産業振興ビジョンの冊子があるかと思いますが、この中に「基本的な理念」が記載されています。この理念を実現するために、どのような取り組みをするのか階層的な形で構成されています。</p> <p>例えば25と26ページですが、これが一番基本的な理念になると思います。25ページには「産業における将来像基本方針」と掲げられており「交流と連携でつくる、多彩な産業がキラリと光るまち」に基づき、3点の基本方針が定められています。</p> <p>続いて26ページには「各産業分野の目指すべき姿」が階層的に構築されており、そのためにはどういった仕事を展開すべきか示されています。このビジョンは長期間の指針としていますが、策定からの10年間で非常に大きく社会構造が変化しました。ですから、その社会構造の変化に合わせて戦略面を変えて提供していく必要があります。やはり、長期的に見たときに上尾が産業においてどういった将来像を達成していくのかという、中長期的な視点を提示するという意味で非常に大事なことになります。</p> <p>今回、新型コロナウイルス感染症によって、かなり社会的な状況が変わりました。ただ、コロナウイルスによって進歩したという面もあります。</p> <p>例えば、中長期的にはDXデジタル化の推進といったところというのは、コロナウイルス関わらず推進する必要がありましたが、コロナウイルスにより大きく促進されたということもあります。そういったことも色々と議論しながら新しい時代に合わせたものに構築していくという、非常に大事な枠組みになったと思います。その中で、提言書などの資料を作成しておりますけれども、色々なご意見を頂戴していくということが重要となりますので、産業振興会議の委員の皆様は、それぞれの地域の様々な実態を熟知されており、実践で取り組まれておりますので、非常に重要な立場となります。それに加えて、市内事業者あるいは市民からの意見を頂戴することになります。そして重要な課題についてヒアリング調査をするということになります。</p> <p>資料2の下段ですが、アンケート調査のベースになります。本日は産業分野の課題ということで事務局に整理していただいて、とてもコンパクトに集約がされているんですけども、昨年度に委員の皆様を対象に、各事業のアンケ</p>
-----------	---

	<p>ート調査を行っており、資料2は非常に詳細なバックデータを使用して作成されております。</p> <p>一部委員が替わられておりますので説明をしておりますが、昨年度の調査から出てきたエッセンスということになります。</p> <p>本日、皆様に何をお願いしたいかという、このアンケート調査というのは、私達が将来に向けてこういった事を実現したい、それに向けてこのような課題がある、ということを確認した上で、それをベースにしながらアンケート調査の項目を作っていきます。</p> <p>そうする事で、私達が大事だと思っている項目について、評価を事業者からお答えいただけるということになります。ヒアリングも同じです。それらを総合し踏まえた上で新しいビジョンに反映していくことになります。</p> <p>これらのことがこれまでの産業振興会議の中に出てきています。</p> <p>以上のことを踏まえて、様々な視点から皆様の自由な意見をいただいて事務局で整理を行います。</p> <p>それでは、ご感想でもご意見でも結構ですので委員の皆様からお話を頂戴したいと思います。</p> <p>それでは、●●委員お願いいたします。</p>
●●委員	<p>提言書の13ページにある中小企業サポートセンターの実績ですが、販売促進相談が95件あり、非常に多いと思っております、我々のショッピングセンターで考えましても、相談事例集を見ますと3ページに、販売促進に関する事例が一つありまして非常にいい取り組みだなという風に思います。我々ではこういった取り組みを全テナントに向けて研修会を頻繁に行っております。</p> <p>今はデジタル、特にSNSですとかそういった時代になってきてますので、年配の方も、スマートフォンなどから情報を得る方が非常に多いと思います。ですから、この辺の内容をサポートしていくのは今後も特に広げていくべきだと思いますので、こういう機会を多く作っていただき、いろんな方が参加しレベルアップしていく。未だに無知な方もいらっしゃると思いますので、こういった研修があることで初めての機会の創出や、そういった繋がりができたらいいいのかなというふうに資料を見て思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>販売促進の方法として、デジタル化の推進が大事だと言うこと、その啓発を行うことで、市民の皆様に使っていただけるようなサポート体制の準備が重要だということです。</p> <p>それでは、●●委員お願いいたします。</p>
●●委員	<p>基本的な確認となりますが、今回、議題(2)「第2次上尾市産業振興ビジョンについて」のご意見ということで、資料2にあるアンケートの設計にあたって、意見を交わすということでもよろしかったですか。</p> <p>アンケート調査とヒアリング調査というのは次期ビジョンを策定するために必要となります。私達がビジョン策定において大事だと思うことを示した上で事業者から意見を聞く必要がありますので、ご意見を伺っています。</p>
会長	

<p>●●委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>現行の産業振興ビジョンを踏まえて政策をやってこられて、今度新たにということなんですけれども、この現行ビジョンの成果がどれだけ安定している、だから、次期ビジョンではこのようにステップアップしたという背景が見えにくいと思ったので、そこを教えていただければというのが一つ。</p> <p>また、観光の面で上尾市は非常に難しい立ち位置とっており、上尾の観光の目的は、地場にお金を落としてもらおうというふうに思うのですが、もう少し明確化すると戦略的に進められ政策的な取捨選択が可能となるのではないかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>1点目は現行ビジョンの成果、到達点についてです。</p> <p>2点目は観光の目的についてですが、例えば、温泉地などの観光と大都市近郊の商業都市です。上尾は商業都市になりますから、どのように観光政策を取り組んでいくかということが重要です。多くの人に来ていただいて食事をしたり、楽しんでいただくということもあるでしょうし、もう一つの大事なポイントが地域ブランドの創出です。上尾のイメージを高めることによって、たくさんの方が創出できます。</p> <p>例えば、商工連携で作った商品を販売するなどし、上尾にとっての観光とはなんなのかを考えることが大事なことだと思います。</p> <p>それでは、●●委員お願いいたします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>私の立場は工業ということで、中々、工業と一つに括っても、会社毎に製造している物は異なります。それが一般の方には中々分からないと思います。</p> <p>上尾市として全体を盛り上げていくためには、商業、工業、農業と色々な分野の中で、工業は上尾市で古くから営んでいるんですけども、市民の方からすると、あの会社は何を作っているか社名だけでは判断できませんので、事務局サイドにはアンケート調査やヒアリング調査の実施の際には現場を見てもらいたい。</p> <p>どのような物を作っているのか、どのような機械で何を製造して、どういった材料を使用しているのか、実際に見てもらおうことで感覚が違ってくるのかなという気がします。</p> <p>是非、機会があればお願いします。</p> <p>また、本日の午後に、県のDX大賞を受賞したスリーケ株式会社に埼玉県知事はじめ、委員の方や様々な役の方が見学にいらっしゃいます。</p> <p>そういったことの積み重ねが大事だと思っており、市として市民の方をはじめとして認知度を高めていくことが必要だと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>このテーマは、第1回産業振興会議の際にもおっしゃっていたかと思いますが、製造業を市民の方、若い方に認知してもらうことが大事だと議論しており、共通認識としてありました。</p> <p>現場を直接見てもらえばいいのか、あるいは学校と連携するなど、色々な課題があったというふうに記憶しています。●●委員がおっしゃったことは非常に大事だと思います。</p>

<p>●●委員</p>	<p>私も個人の研究ではありますが、ヒアリングで企業に伺って現場を見させていただくことがあります。やはり、現地を見させていただくと、感覚が全然違います。こんな細かい作業ができるんだなって思いました。ですので、市民の方に製造業の現場を知っていただくということは大事なことになります。</p> <p>それでは、●●委員お願いいたします。</p> <p>商店街連合会の立場から出席させていただいております。</p> <p>商業へのアンケート調査について、資料2に記載があり、「取引手法や消費形態の変容への対応」とあります。如実に現状を記載させていただいておりますが、いかんせんこれはDX促進等に絡んでくる内容かと思えます。</p> <p>先ほど、●●委員がおっしゃられたようにSNSの時代になってきたということで変化が見受けられます。</p> <p>また、取引に関しては新紙幣が発行されましたけれども、それとは別にキャッシュレスが課題です。若者中心に浸透しているということは現場の雰囲気を感じております。商人の本当の気持ちになると、ニーズがあるため取り入れはいたしますが、本音は現金払いが一番です。</p> <p>何故かというところも多いたと思いますが、支払いに関してはクレジットの支払いに関しても必ず手数料が発生します。ナショナルチェーンや大手通販と手数料の面で比較すると、個々の店舗は3倍近くの違いがあります。その差がとても大きく、そのため、商売によっては現金しか扱わないという業種業態の方もおります。</p> <p>そういう形でどう対応していくか、益々そういう時代になってきておりますので、一生懸命対応はしておりますが、現場としては現金が一番魅力的かなと思えます。</p> <p>それから、色々な施策がございますけれども、県の商店街連合会という組織もございまして、年に3から4回の会議があるんですけども、色々な地域の方とお話をさせていただいて、輪番制で各商店街の視察に行くのですが、今年の3月に川口市の商店街連合会に見学に行きました。最近、東口で開発された樹モーブプラザという施設があり、こちらは商工会議所やデベロッパー、地元企業の集合体で見事に成功した事例の1つだと思えました。その際に、上尾西口のモンシェリーの再々開発もあるのかと、ちらっと話題があがりました。そして、来年は上尾市を見学したいと声があがっております。一つはUDトラックス株式会社、もう一つは北西酒造の日本酒を見学するなどのセッティングをお願いされておまして、明日のミーティングで相談しようと考えているのですが、先進的なところの紹介もいいのですが現状を踏まえて上尾はどうなのかなと思うところがあります。</p> <p>それから、先ほどお話のありました中心市街地回遊性強化事業です。先ほど、上尾の観光とは、というお話がありましたけれども、現在インバウンドを呼び込める何かというものは無いんですけども、近くの市町村から人を呼び寄せる取り組みは欲しいなということは事実でありまして、上町の方で30m近くの組み木を作っており神社に設置する予定なんですけれども、そういった形で一つ一つ名物、あるいは名産によって中心市街地がより活性化していければいいなと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p>

重要なポイントが2つありました。1点目はDX化の問題です。業種関わらずこれから活用していかなければならないし、積極的に取り入れていかなければならない。これは時代の流れですので、踏まえていかなければいけません。

しかし、一方で様々な課題があります。

具体的に●●委員から商業についての課題ということで、お話されましたことについてはしっかりと受け止めて、商業にとっての課題とはなんなのか、アンケートを通して明確にする必要があるかなと思います。

一方で、商店街がコミュニティの活性化といいますか、地元の賑わいづくりという大事な性格を持っているということがあるかなと思います。まさに現金を使って、顔を見合う関係で、お付き合いができるということが商店街のいいところだと思います。商店街活性化のそういった視点において、本来の役割・意義について視野に入れていかなければいけません。

それから、2点目も非常に大事なことです。観光との連携は非常に大きなテーマとしてあるかなと思います。

それでは、●●委員お願いいたします。

●●委員

市民視点から発言させていただきます。

やはり、情報発信が大事だなというのはSNSの観点からもあるんですけども、その発信の仕方もみんなに繋がるように楽しくストーリー性を持たせるということはとても大事だと思います。私はSNSを見るタイプなのですが、市内事業者の「菓匠つくも」や「岸井農園」は非常に上手にPRを行っており、本当に行ってみたいと思うことがあります。

ARの活用を今後するつもりであれば、その前にちゃんとストーリー性を持たせないと盛り上がりません。

上尾市は、何も無いけど暮らしやすい街です。市民として生活していて、上尾市に求めているのは「暮らしやすさ」ではないかなと思います。そのためには商店街がなければならず、工業の発展が必要であり、農業もある必要があります。安心して物を食べたいということが一番なので、地産地消で近場なものを新鮮で安く安心して食べられることが一番ありがたいことだと思います。

スーパーでは色々な農家の地産地消コーナーを設けていただいています。

しかし、店内の端にある場合が多いのでもう少し盛り上げていただけると良いと思います。

また、給食との連携ということも非常に大切でありがたいと思うのですが、その給食と連携する農産物が果たして安心安全か、しっかり見極める必要があると思います。今は有機野菜でもいいという人が増えていますが、有機野菜に限らず安心安全だということをPRされている農産物を販売もしくは給食連携に取り入れていただきたいなと思います。

また、同じストーリー性ということで、平方にとある高齢者施設がありまして、そこに素敵なレストランがあるんですけども、そこもやはりSNSの使い方が非常にうまくて、更新されるとすぐに食べに行くのですが、料理に使用されている野菜はやはり地域連携をされていて、さいたま市のヨーロッパ野菜研究会と北本市の男前トマト、上尾市は岸井農園と連携をしているようです。やはり連携が上手な所には私のように興味を持って遊びに行く人が多

<p>会長</p>	<p>いますけれども、どういうふうにしていけばいいか分からないという方が大半だと思います。ですから、中小企業サポートセンターのPRを行い、引き続き支援を行うことがまだまだ必要なと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>1点目は上尾市が作るビジョンは実践的である必要があり、事業者のビジョンと合っている必要があるということです。まさにその通りだと思います。そのために、先ほど申し上げたのですが、上尾市として大体こういった方向性でざっくりとした10年後の構想をアンケート、ヒアリングで問いかけるとそれに対する答えが見えてきます。</p> <p>行政と事業者、あるいは市民ですり合わせを行い、お互いのビジョンを共有することが重要です。</p> <p>2点目はDXやGXです。今後はデジタル化をより幅広く活用していくことが業種に関わらず求められます。●●委員からもありましたが、それに対して事業者はどういった課題があり、どのように活用したらいいのか分からないということがあります。ですので、中小企業サポートセンターを活用することによって、悩みを解決することができるんだよというようなストーリーが一つ見えてくると思います。それが伝わるような周知の仕方を今後行っていただく必要があるのではないかなと思います。</p> <p>それでは、●●委員お願いいたします。</p>
<p>●●委員</p>	<p>アンケート調査についてですが、資料2裏面の上段に「項目例」という表記が商工業と農業に分かれてありますが、これが質問項目になると思っていて、確かにその通りだと思うんですけども、なんとなく現状をお聞きしているのかなと受け止められました。</p> <p>私は素直に行政に対して何をしてほしいのか、行政に求めることを聞いてしまった方がいいのではないかなというふうに思っています。ある意味、経営課題の箇所に該当するのかもしれませんが、行政機関に対して何を期待しているのか、是非聞いて頂ければいいのかなと思います。</p> <p>少し話が異なりますが、上尾商工会議所の内部で賑わいづくりについて議論を交わしている最中ございまして、最終的な結論は出ていませんが、中心市街地の活性化、あるいはそれに対する危機感ということが議論をスタートしたきっかけになったと認識しており、賑わいづくりをしていくためにはどうすればいいのかという議論の中で、やはり「数」が必要だろうと話が出ています。</p> <p>その「数」とはなんなのかというと、2つの意味の数があると考えられています。一つ目は定住人口の数、上尾市に住んでくれる人がもっと増えていただきたいという数です。二つ目は上尾市を訪ねてくる数、インバウンドや観光に該当する数があると話になりました。</p> <p>事業者の最終的な目的は、売上が上がって利益に反映することだと思いますので、そのためにはどうしても数が必要です。上尾に何を求めるのかというのは、●●委員がおっしゃることがまさにその通りだと思うのですが、やはり、住みやすい街とか子育てしやすい事だと思います。ですので、何が言いたいのかというと、上尾を訪れる観光の数を求めるのは中々厳しいのかなと思います。</p>

	<p>例えば、宇都宮のL R Tや所沢市の角川書店のような先進的な話題性のあるものを構造物や施設で作れば、外から人が呼べるのかなと思いますが、中々難しい面もあると思います。あるいは、定住人口で言えば千葉県の流山市のような市を参考にすればよいのではないかと意見もありました。</p> <p>いずれにしても、行政に何を求めているのかということを実業者に伺った方がいいのではないかと思います。</p> <p>また、ヒアリングについてですが、ヒアリング先ということで上尾商工会議所も入っておりますけれども、団体にもヒアリングをすることに少しは意味があると思いますが、やはり、市民あるいは色々な業界に接して事業を行っている個々の事業者にはヒアリングをするべきだと思います。他には、例えば建設業界や理容組合、酒販組合、タクシー組合など色々な業界があると思いますから、そういった生活面に密着したような業界団体にヒアリングをするのも一つ手かなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>まず、1点目のアンケートについて、資料2の「項目例」ですが、事前に事務局から拝見した際に一つ申し上げたことなのですが、やはり、自分の考えを示さないと相手からその点に関する回答が得られません。</p> <p>今回は羅列的に項目を並べさせていただいて、委員の皆様のご意見を頂戴しようということを示させていただいています。これにはプロフィール的なものがあって、項目の「政策全般」の中身をいかにしっかりと作っていくのが課題だろうと事務局に申し上げているところでございます。</p> <p>2点目ですが、先ほど「暮らしやすさ」という部分が最終的にはテーマになるという話があったと思います。そのためには何をしていくかということ、定住人口と交流人口の2つを上尾市としてどういったふうに捉えているのかという事になります。これも非常に重要なことになります。そういったことも視野にいれながら、具体的に事業者の意見を聞けるように考えていく必要があるということとは間違いはないと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほど、●●委員の発言の中で、団体とのヒアリングよりも個々の事業者の方が実情を掴めるのではないかとのご意見があったかと思います。</p> <p>個々の事業者に関しては、前座のアンケートの方で市内事業者は6,000件近くありますので、ヒアリングに近い形でアンケートを実施できればという風に考えております。</p> <p>それとは別に、実際にそういった業界を取りまとめている団体を中心にヒアリングを実施して広く意見を募りたいと考えているところでございます。</p>
<p>会長</p> <p>●●委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、●●委員お願いいたします。</p> <p>私も●●委員が先ほどおっしゃった事と同意見です。</p> <p>上尾市には何も無く、海もなく災害もない、しかし、そこが暮らしやすいことに繋がっていると考えているんですけども、若い人たちに住んでもらえないと、10年後のビジョンの際に、この委員メンバーが何人残っているか分かりませんから、若い人たちを対象にアンケートを実施することが必要で、子</p>

	<p>手不足の解消に繋がるのかヒアリングをした方がよろしいのかなと思います。</p> <p>エネルギーについては、昨年度は補助金があったかと思いますが、今年度は無くなってしまうというのは、どうしてなのかお答えいただければと思います。</p> <p>また、今回、資料2の工業の課題について、どうしてこの3つを示したのかお答えいただければと思います。新製品開発に関しては、これまでと全くやっていることを変えなければいけないという大変な形になってきますので、そこに関して市の方で十分支援ができる体制ができているということであれば、今回の技術開発支援、新製品開発支援の部分にいわゆる輸送機械の方々を転換することが可能である、ということを示されたのであればよろしいのですが、そうでないのであれば少し検討していただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>アンケート調査の項目ですけれども、この資料2は昨年度の産業振興会議の委員を対象にアンケート調査を実施し、その結果を事務局に整理していただいているものです。</p> <p>その他、ご質問をいただきましたエネルギー支援の補助事業が今年度実施されていない点につきまして事務局から回答をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>「中小・小規模事業者原油価格・物価高騰等対策支援金」につきましては、昨年度は国の方から原材料価格の高騰とエネルギー価格の高騰を踏まえて、その対策支援ということで3月に臨時交付金が示されたことを受けまして、その中のメニューとして市独自に物価高騰等に対する支援金事業を実施したところです。国の交付金を活用した取り組みということで、令和6年度に関してはそれがありませんでしたので、今年は継続していないというものでございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>業態転換への支援ですね、確かにEVについては色々と議論がされているところではありますが、大きな流れとして既存の技術をうまく活用しながら新しい業態へ転換ができるのかということも含めまして、社会全体の課題になると思いますので、アンケートで示すことで事業者は何を求めているのか分かると思います。このことについては、昨今、非常に注目度が高まってきている内容になりますので、昨年度には、拾い上げることができなかったのかもしれない。</p> <p>ですので、こういった内容もアンケートに加えていただければと思います。それでは、オブザーバーお願いいたします。</p>
<p>オブザーバー</p>	<p>現在、ドライバー不足により、トラックやトレーラーの輸送問題がくるだろうということで、花王とライオンのライバルメーカーが出荷製品を同じトラックに積み込んで、発送をしている時代になっています。</p> <p>市内の工業者が材料を仕入れるとき、あるいは出荷をする時、トラックやトレーラーの大きさに不自由がないのかヒアリングをする必要があると思います。</p>

<p>会長</p>	<p>また、商業では●●委員がおっしゃられたとおり、小規模事業者の商店や飲食店にキャッシュレス等の手数料が4から5%というのは原材料価格が高騰している今、非常に問題を感じます。私の知り合いで小さな街のレストランを営んでいる方がいるんですけども、PayPayの導入を辞めたという話を先日伺いました。</p> <p>小規模事業者にとっては、この4から5%は本当に重荷になっておりますので、新しい消費形態・取引手法を進めていくのであれば、このままキャッシュレス等を導入しているお店に対してどのように対応していくのか、そういったところは非常に大事かなと思います。</p> <p>その他産業横断的な課題の中で、事業者支援の中に含まれるんでしょうけれども、BCP（事業継続力強化計画）も課題に感じます。</p> <p>また、先ほども申し上げましたが人材不足に対応する人材確保関係、上尾市は雇用対策協議会で説明会などを行っておりますけれども、シニア人材の活用については、8月6日のシニア人材マッチングの面接会にエントリーしませんかと何社が営業させていただいたんですけども、60歳以上の新たな人材を発掘したい企業もありますし、人手不足なんだけどその層の方々は採用しないんですといった法人もございます。このシニア人材の活用推進も若干考えた方がよろしいのではないかと考えております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>個別具体的なご意見をいただきました。</p> <p>1点目は物流です。ロジスティクスについても確認をして調べていく必要があります。</p> <p>2点目は●●委員がおっしゃっていた手数料の問題です。これは、まずどのような仕組みになっており、何が問題なのかということを確認した上で、自治体ができることはあるのかということです。</p> <p>そして、BCPの問題です。今回は新型コロナウイルス感染症の問題があり、何かあった際の対応を考えておく必要があります。色々な災害がありますから、それらを踏まえて考える必要がございます。</p> <p>最後にシニア世代の人材活用についてです。こちらも今後具体的に考えていく必要があります。</p> <p>それでは、最後に副会長お願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>皆様、お疲れ様でございます。</p> <p>皆様のご意見は多岐に渡っているように見えるのですが、恐らく集約されているような気がします。やはり、人というのは、各々で問題を抱えていて、それらを解決し形にすることで、もっと住みやすく、住みたい上尾市が出来上がると思いますので、そういった方向に集約すると思います。</p> <p>私の会社が領家の工業団地にあるんですけども、やはり立地的に遠いですから団地内に人が入りづらい、また、近くに学校があったりしますので、輸送車なども入りづらいなどの問題があります。</p> <p>やはり、上尾市の青写真が明確になってくれば、もっといい街になり、住みやすくなると思います。今、私の娘が出産の関係で帰ってきているのですが、上尾市は子育ての補助金が非常に少ないです。ですので、子どもが暮らす分に</p>

	<p>はとてもいい場所なんですけど、支援面で言うと大宮や付近の桶川、行田の方が手厚いらしいです。</p> <p>先ほど、定住人口が0.1%下がったと言っておりましたけど、入ってくる人というのが、少し年齢が高齢の方で、都内生活がちょっと辛いから、この辺に引っ越したというような人が流入している印象があります。やはり、URなどの安い団地が結構建っておりますから、そういったところに入っただけの人もちろん大事なんですけれども、これから10年後を考える場合、若い人の人口流入を補助できる、そんなような上尾市になっていただきたいなと思います。</p> <p>そして、その世代たちが上尾市で働いてくれて新たな産業の活発になるような流れに持っていければいいんじゃないかなと考えております。</p> <p>皆様のご意見を伺って自分の意見としてまとめさせていただきました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>副会長にまとめて頂きましたが、結論として暮らしやすい街を目指すという事です。そういったところを基本として念頭に置く。これには総合計画や地域創生総合戦略があり、今から新たに構築していくことは本ビジョンでは難しいと思うので、それらの計画を踏まえ、ベースにしながら議論や調査ができればと思います。</p> <p>また、調査を実施するにあたって上尾市としてのビジョンを示すことが大事だと皆様からご意見をいただきましたので、事務局にはそれらを受け止めていただき、これからの作業を進めていただければと思います。</p> <p>最後に事務局から何かございましたらお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日は貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>お話でありました若者世代の意見については先ほど会長からもありましたが、市民意識調査というものを昨年度に実施しておりますので、そういったデータを参考にしながら計画の策定を進めて参りたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、議題(3)「その他」ということで、事務局から何かありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局より2点お伝えいたします。</p> <p>1点目でございます。次回の第3回会議でございますが、11月27日(水)の午前10時からを予定しております。開催通知にて改めてご連絡させていただきます。</p> <p>2点目でございますが、先ほどビジョン策定スケジュールの中でもご説明いたしました。次回会議より、新たに公募による市民委員が最大2名参加される予定でございます。また、ビジョンの策定及び当会議の運営支援として、コンサルタントの事業者が参加される予定でございます。新たな形での会議運営となりますが、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今の事務局の説明に対して、ご意見・ご質問などございましたがお願いします。</p>

<p>会長</p>	<p>(発言なし)</p> <p>以上で議事を終了いたします。 進行を事務局にお返しいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。 それでは、最後に副会長から閉会のご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>(閉会のあいさつ)</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>